

教育ながの

ー長野県教育委員会メールマガジンー

第 606 号
平成 25 年 5 月 22 日



しあわせ信州

1. ひろば

キャリア教育日本一へ

長野県教育委員会教育長 伊藤 学司

2. 特集

平成24年度公立高等学校卒業者の進路状況について

教学指導課

3. 今、学校では

優れた「地域による支援活動」

諏訪市 中洲小学校

4. ご存知ですか

長野県生涯学習推進センターについて

長野県生涯学習推進センター

5. イベント情報・お知らせ

6. あゆがき



キャリア教育日本一へ

教育長 伊藤 学司

文

部科学省・経済産業省が共同で行っている昨年度のキャリア教育推進連携表彰で、全国の取組みのNo.1、No.2にあたる最優秀賞、優秀賞に、諏訪市と飯田市の取組みが選ばれました。この賞は、キャリア教育の取組みの中でも、教育関係者と行政や地域、産業界とが連携・協働して行う優れた取組みを表彰するものです。

今

年度から5年間の県の教育政策の方向性を定めた第2次長野県教育振興基本計画では、重点施策として「キャリア教育の推進」を掲げています。キャリア教育は子どもたちに社会的・職業的に自立していく力を身につけるとともに、学びへの目的意識の醸成や主体的に学ぶ意欲の増進の面からも極めて大切なものです。是非、各学校段階において、積極的にキャリア教育に取り組んでいただきたいと思います。

そ

の際留意しなければならぬことが一つあります。それは、学校にとつて「独りよがり」のキャリア教育にしてはいけないということです。

キ

キャリア教育は、学校と社会をつなぐ接点です。基本計画では、「地域に開かれた多様な公立学校」も重点施策に掲げています。「キャリア教育」をきっかけに、学校の教育活動を企業を含む地域社会に開き、地域の方々や企業の協力をいただきながら、開かれた学校づくりを更に進めてほしいです。「地域と協働したキャリア教育とえば長野県だよね。」—こんな評価が全国に定着していくことを期待しています。



特集

平成24年度公立高等学校卒業者の進路状況について

教学指導課

の春、公立高等学校を卒業した方は、16,692人で、平成23年度と比較すると、1,106人多くなっています。今月は卒業生の皆さんの進路状況を集めます。

★大学への進学状況はどうなっていますか？

国立大学への進学者が1,593人で、進学者数は前年度より増加していますが、卒業生全体に占める割合は9.5%で、前年度より0.5ポイント減少しました。

私立大学進学者は、4,533人、27.2%で、1.5ポイント減少しています。4年制大学全体では、6,126人、36.7%であり、2.0ポイント減少しました。

また、短大進学者は、1,537人、9.2%であり、前年度より0.1ポイント増加しました。

★大学以外を含めるとどうなりますか？

大学、短大、専修学校、海外の教育機関を含めた進学率は、69.9%で、1.3ポイントの減少となりました。

専修学校等進学者は5,577人、33.4%で、前年度より548人、1.1ポイントの増加、浪人生は1,730人、10.4%で、前年度より200人、0.6ポイント増加しています。

第1希望に挑戦して希望が叶わず、浪人した生徒や短大・専修学校等への進学に進路変更した生徒がいると思われます。

今後も、希望する進路の実現に必要な学力を身につけ、伸びる力を一層伸ばすとともに、受験だけでなく進学後も視野に入れた進路指導を充実させていきます。

★就職状況はどうだったのでしょうか？

就職希望者は、平成21年度以降増加傾向にあります。24年度は前年度より296人多い3,015人です。このうち、就職が内定した生徒は、2,918人、内定を得られなかった生徒は前年度と同じ97人です。

また、就職内定率は、前年度を0.4ポイント上回る96.8%です。これは、過去10年間では19年度に次ぐ高い数値です。

課程別の就職内定率では、全日制が97.6%、定時制が87.6%で、特に前年度の数値が低かった定時制では、6.2ポイント前年度を上回りました。

厳しい雇用状況が続きましたが、前年度より高い内定率になったのは、僅かではありますが、向上した雇用状況の中で、各校での3月までの熱心な取組、関係機関による様々な支援事業の成果であると思われます。

今後も卒業生に対しては、これまで同様に相談窓口を設置して、ハローワークとの連携を図りながら、国や県の新卒者支援事業などを活用し、就職を支援してまいります。

な

お、本年度は、生徒の社会的な自立をめざし、「自立支援コーディネーター」を高校に配置し、キャリア教育も含めた進路指導全般を支援していきます。

このように、厳しい経済状況が、高校生への進路にも大きく影響し、国立大学進学志向の高まりや短大・専修学校への進学者の増加、また大学生の就職難が就職者の増加になったものと思います。

目次へ戻る

■お問い合わせ

教学指導課 高校教育指導係

TEL : 026-235-7435

FAX : 026-235-7495

e-mail :

kyogaku@pref.nagano.lg.jp

平

成二十四年十二月三日、中洲小学校運営協議会は、優れた「地域による支援活動」において「文部科学大臣表彰」を受賞しました。これまでさまざまな活動を積み重ねてきた地域の皆様と学校とのつながりのおかげと感謝しています。

学

校運営協議会では、年五回の会合をもち、学校運営に関するさまざまな課題や教育環境についての話し合いが行われています。「学校に出かけよう」学校に手を貸そう とともに学ぼう」を基本理念に地域の力を生かした学校運営に努めています。地域にとっても学校にとってもプラスになるつながりを求めて運営しています。

また、次の六つの部会が構成され、各々主体的献身的に活動しています。

【学習支援部会】

「あさがおリースづくり」「ミシンの使い方指導」のほか、「書き初め指導」をしていただきました。書写では、一筆一筆に心を込めた指導に子どもたちも真剣な眼差しで取り組んでいます。外部講師や学習支援ボランティアは、学力の向上に結びついています。



【安全教育部会】

地域の皆さんと一緒に子どもたちが安全に登下校できるよう見守るキヨロブラ運動や学校の安全教育行事に参加して支援活動

を行っています。地域の方々の見守る眼は防犯上も大変役立っていると受け止めています。

【ものづくり部会】

畑ではジャガイモ、にんじん、そばなどを栽培し、田んぼでは米を作り、子どもたちも汗を流し、土に親しんでいます。収穫した野菜を使つての焼き芋会やカレー会、餅つき会、そば打ち会などを行っています。



【交流教育部会】

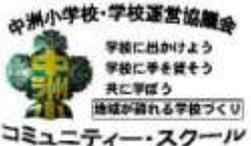
「カリンの木の世話を通して一年生と六年生が兄弟や姉妹のように仲良くなつてほしい。」という願いに沿って、木の剪定、袋がけ、カリンづけ、そして、販売と年間を通して活動しています。

【施設支援部会】

学校の依頼を受けて学校の施設面の充実を進めています。エントランスパークの整備や植樹、学校内の階段手すりの取り付けなど、児童や職員では難しい作業を行っています。

【PC支援部会】

危険箇所を集約して安全マップを作成し、全家庭に配布しました。校内の教室配置図も作成しました。



■お問い合わせ
諏訪市中洲小学校
〒392-0015
諏訪市中洲 2372-1
Tel:0266-52-1933
Fax:0266-52-1995

ご存知ですか

長野県生涯学習推進センターを紹介します

長野県生涯学習推進センターは、県民の皆様が生涯を通じて学び、学びの成果を人や地域に生かす社会を目指し、長野県が設置している機関です。研修事業、情報提供事業、調査研究事業を行っています。

今年度は二十一の講座を開催します（講座一覧は[センターホームページ](#)に掲載）。どの講座も、どなたにも無料で受講いただけます。

昨年度は、一九〇人を超える受講者をお迎えしました。講座の様子をいくつか、ご紹介します。

◇どこにあるの？

塩尻市の東北、松本平と北アルプスを眺望する丘にあります。県の総合教育センター（レンガ色の大きな建物）の附置施設です。



周辺の森には自然観察路が整備され、春夏秋冬、美しい自然に触れることができます。夏は、クールシェアスポットとして、利用されています。

◇どんな講座があるの？

地域づくりや、家庭・幼児教育に関わる方々のための指導者養成講座。いのちや生きること等をテーマとするフォーラム・セミナー。天体観測・パソコン等の学習機会の提供など。

子どもがよろこぶ、楽しい「運動遊び」(6/26)
「ナベナベ底ぬけ♪底がぬけたらかえりましょ♪」遊びから、笑顔いっぱいのコミュニケーションが生まれます。講義では、「なじみの地平」、「アナログン」など、指導のポイントについても学びました。



金環日食を見よう！ (5/21)

ピンホール板を用いて三日月形の太陽を見ると、こんな形に。天体観測室の望遠鏡では、黒点やプロミネンスも観測できました。

「若者の力が地域を支える」(12/6)

若者の力を生かした地域づくりについて、事例から学びました。グループ討議には、3校の高校生33人が参加し、地域づくりに取り組む方たちに元気と希望をもたらしました。

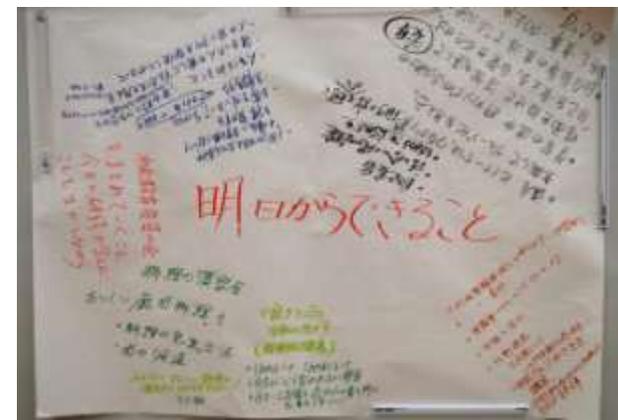


セミナー「生きる力」(9/22)

「人生は択びの世界。何をよいものとするか、価値あるものとするか。選ぶ目の深さ、高さが人生を決める」、「選べないことはすべていただく」など、明日を生きる力となるお話を多くいただきました。

学びをつなぐ公民館(7/4)

学習の質を高める「ふりかえり」の方法を学びました。『明日からできること』の中に、「ほめること」、「自己変容」などが見えます。



■お問い合わせ

長野県生涯学習推進センター

〒399-0711

塩尻市片丘南唐沢6342-4

電話 0263-53-8822

FAX 0263-53-8825

◇情報提供事業では、どんなことをしているの？
研修講座の内容を収めたDVDの貸出、高等学校で実施されている地域住民を対象とした公開講座の紹介、大学が行っている生涯学習講座の紹介、人材に関する情報などの提供を行っています。また、センター内に「ナビゲーション」を設けて、生涯学習に関する資料や書籍を置き、学習や交流の場としてご利用いただけるようになっています。

◇調査研究事業ではどんなことをしているの？
市町村教育委員会や公民館等に協力を得ながら、年度ごとにテーマを設定し、県の生涯学習の現状や課題について、調査と研究を行っています。詳しい内容はホームページをご覧ください。

イベント情報・お知らせ

イベント・募集

◆生涯学習推進センターより

6月から7月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆家庭・幼児教育講座 「不登校の理解と支援」	6月6日(木) 13:00～16:00	講義:「不登校の理解と支援」	講師 小澤 美代子 さくら教育研究所所長 元千葉大学教授
◆家庭・幼児教育講座 「夢が広がるパネルシアターの世界」	6月20日(木) 9:40～16:00	講義:「心をつなぐ 技をみがく ～パネルシアターの楽しさ～」 実習「夢を育むパネルシアターづくり」	講師 古宇田 亮順 パネルシアター創案者
◆生涯学習推進者実践講座 【5回連続講座】①	6月24日(月) 9:40～16:00 (7月以降の日程は調整中)	講義:「地域づくりをどうするか」・情報交換他	講師 白戸 洋 松本大学総合経営学部教授
◆生涯学習推進講座 「公民館から地域をつなぐ」	7月5日(金) 9:40～16:00	講義:「人がつながる地域づくり」 演習:「人がつながる地域づくりをデザインする」	講師 長谷川 幸介 茨城大学生涯学習教育研究センター准教授
◆家庭・幼児教育講座【移動講座】 「親子の絆を育むコミュニケーション」 ※ 会場 エコールみよた(北佐久郡御代田町)	7月9日(火) 14:00～16:30	講義・演習:「子どもも育つ! 親も育つ! 親子の絆を育むコミュニケーション」	講師 山口 順子 コーチングオフィスジェイフィールド代表
◆フォーラム 「男女共同参画フォーラム」 ※会場 長野県男女共同参画センター“あいとびあ”(岡谷市)	7月13日(土) 13:30～15:30 (11:00～ ワークショップ・アトラクション)	講演:「お父さんの育児で家族が育つ」(仮題)	講師 汐見 稔幸 白梅学園大学教授 東京大学名誉教授

※ 受講は無料です
※ 会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

■お問い合わせ
長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
Tel : 0263-53-8822
Fax : 0263-53-8825
e-mail : shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

※ 生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

目次
戻る

あとがき

メールマガジン6月号をお送りします。

新緑が美しい初夏となりました。
行楽シーズンともなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか??

日差しも強くなり、汗ばむ陽気になってきたので、先日ようやく、部屋のコタツを片付けました。
存在感抜群だったコタツがなくなり、部屋がなんだか広々としたような気がします。肌寒い日は多少恋しくなったりもしますが…。

暑かったり寒かったり、気温の変化が激しい日々ですが、体調には気をつけてお過ごしください（か）

- ◆ 非違行為により懲戒処分を受けた教職員の再発防止研修を実施します
- ◆ 第959回長野県教育委員会定例会を開催しました
- ◆ 新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」が誕生しました。

